

ソフトバンクが再生可能エネルギー関連事業を加速¹

新エネルギー・国際協力支援ユニット
新エネルギーグループ

ソフトバンクは今年に入って、太陽光、風力、蓄電池などの再生可能エネルギー関連分野の事業展開を加速させている。再エネ事業は孫正義社長の壮大な「野望」とも言われている。その全体像はまだ見えないが、ここへきて少しずつ具体的な形を現し始めた。

ソフトバンクが最も力を入れているのが太陽光発電事業である。同社の子会社で再エネ事業を手がける SB エナジーと三井物産は 9 月下旬、北海道安平町において発電容量 111MW のメガソーラーを 10 月中に着工し、共同運営すると発表した²。2015 年度冬の稼働を目指す。単独の太陽光発電所としては国内最大級とされる。

また、SB エナジーは 10 月初旬、三井物産、京セラと共同で、大阪府で計画されているメガソーラー事業に参画すると発表した³。さらに 11 月半ば、同社はやはり三井物産と共同で熊本県と福岡県に発電容量がそれぞれメガソーラーを建設し、発電事業に参画することを明らかにした⁴。

ソフトバンクは風力発電部門にも強い関心を示している。今年 8 月、同社は北海道北部で風力発電事業を計画していると報じられた。SB エナジーが留萌市に事務所を開設し、稚内市から増毛町にかけての日本海側沿岸部で風量や地形の調査を始めたという。同社は年間を通じて強い風が吹く北海道北部の風力ポテンシャルに着目しており、まだ具体的なプロジェクトの発表には至っていないが、事業規模は日本最大級となる可能性がある。

再エネ発電と並行して、送電線の事業にも意欲的だ。10 月 21 日、経済産業省は風力発電向け送電網整備実証事業の対象として 2 社を選定した。そのうちの 1 社は SB エナジー社と

¹ 本稿は経済産業省委託事業「国際エネルギー使用合理化等対策事業（海外省エネ等動向調査）」の一環として、日本エネルギー経済研究所がニュースを基にして独自の視点と考察を加えた解説記事です。

² 「ソフトバンク 苫東安平ソーラーパーク」

http://www.sbenergy.co.jp/ja/news/press/2013/pdf/press_20130924_01j.pdf

³ 「ソフトバンク 泉大津ソーラーパーク」

http://www.sbenergy.co.jp/ja/news/press/2013/pdf/press_20131003_01j.pdf

⁴ http://www.sbenergy.co.jp/ja/news/press/2013/pdf/press_20131119_01j.pdf

熊本県荒尾市の「ソフトバンク熊本荒尾ソーラーパーク」(24MW)と福岡県大牟田市の「ソフトバンク大牟田三池港ソーラーパーク」(19.6MW)。両施設はともに 2014 年 1 月の着工を予定しており、同年末頃の運転開始を目指している。

三井物産、丸紅で構成するグループである⁵。それぞれがつくる特定目的会社（SPC）が北海道で送電網を構築し、北海道電力の大規模な送電線に接続する。

ソフトバンクが送電インフラへの投資を重視するには理由がある。同社は 3.11 以来、メガソーラーの建設を中心に再エネ事業への参入をアグレッシブに進めてきたが、その間、送電容量の制約という問題に直面した。特にメガソーラー計画が目白押しとなり、既存送電線の送電容量が限界に近付いている北海道では、政府と電力会社が新規の太陽光発電設備の導入を制限する方針を打ち出している。前述の北海道苫安平町のメガソーラーは当初、2014 年度中の稼働を見込んでいたが、送電線連系に関する北海道電力との協議が遅れ、運転開始の見込み時期が 15 年度中にずれ込んだという経緯がある⁶。そのため、ソフトバンクにとって送電線の整備は再エネ事業拡大の必須要件となっている。

ソフトバンクの送電線事業計画は国内にとどまらない。孫正義氏は 3.11 後間もない時期から、モンゴルの風力や太陽光、ロシアの水力などによる発電電力を、国境をまたぐ送電線で日本に運ぼうという「アジアスーパーグリッド構想」⁷を公にしていた。報道によると、その具体化に向けてソフトバンク子会社とモンゴルの投資会社による合弁会社が、モンゴルのゴビ砂漠で日照量や風況の実地調査を近く開始するという。

お問い合わせ : report@tky. ieej. or. jp

⁵ もう 1 社は風力発電大手のユーラスエナジーホールディングス社

⁶ 北海道では、ほかに白老町や八雲町でもメガソーラーの建設を計画していたが、北海道電力が太陽光発電容量の新規導入の受け入れを制限したため、計画の見直しを迫られている。

⁷ 「アジアスーパーグリッド 構想から実現へ」

[http://jref.or.jp/images/pdf/20120309/10March_REvision2012_session5-2_son.pdf#search=%E3%82%A2%E3%82%B8%E3%82%A2%E3%82%B9%E3%83%BC%E3%83%91%E3%83%BC%E3%82%B0%E3%83%AA%E3%83%83%E3%83%89'](http://jref.or.jp/images/pdf/20120309/10March_REvision2012_session5-2_son.pdf#search=%E3%82%A2%E3%82%B8%E3%82%A2%E3%82%B9%E3%83%BC%E3%83%91%E3%83%BC%E3%82%B0%E3%83%AA%E3%83%83%E3%83%89)